

下記の5つの方針に基づき、新しい道の駅のゾーニングを行います。

方針1 平日と休日で違う顔を持つ道の駅

- ・平日は町民利用中心、休日は町民と来訪者*が集う道の駅として多様な使い方ができる施設

	道の駅本体	広場	駐車場
平日	・町民が日常使用する軽飲食やワークスペース、町民のための情報発信拠点など	・町民の健康維持に利用するヨガ広場、公園としての広場	・広場や道の駅を利用する町民のための無料駐車場
休日	・地元産食材を使用したフードコート、観光から定住情報まで手に入る安芸太田町の情報発信拠点など	・町内外から集客するイベント広場（交流の場）	・施設利用者のための無料駐車場 ・BBQやRVパーク利用者対応の水や電気が利用できる有料駐車場

方針2 安芸太田町の地の自然・人を活かした道の駅

- ・森林セラピーロードなど安芸太田町の雄大な自然をアピールできる施設、外構整備
- ・名物コンシェルジュが安芸太田町の魅力を教えてくれる情報発信拠点を道の駅の核として整備

方針3 天候に左右されない道の駅

- ・大屋根をかけるなど半屋外空間を設けることで気候に左右されず多様な活動が出来る施設
- ・屋内を大空間として設け、可動間仕切りを整備するなど用途に応じて可変できる仕組みを取り入れた多様な活動が出来る施設

方針4 立ち寄りたくなる道の駅

- ・森林セラピーゾーンや道の駅本体に近接した広場を道路に面して配置することで、国道191号線や戸河内ICから魅力的な道の駅施設が目に入りやすいように施設を配置
- ・温井ダムや三段峡など安芸太田町内で観光する来訪者*が立ち寄りたくなる施設

方針5 安全性に配慮した道の駅

- ・道の駅の車両出入口を変更し、国道191号の交通渋滞を緩和
- ・北側敷地に道の駅機能を集約し、国道191号の往来が少なくなるよう配置

※安芸太田町の総観光客数 約58万人（広島県観光客統計調査票,H31）

